

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 ぎふワールド・ローズガーデン維持管理費（指定管理者分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 協働推進係

電話番号：058-272-1111(内4915)

E-mail : c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 228,043 千円 (前年度予算額： 228,043 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	228,043	0	0	430	0	0	0	0
要求額	228,043	0	0	532	0	0	0	0
決定額								

2 要 求 内 容**(1) 要求の趣旨（現状と課題）**

平成15年9月に地方自治法の一部を改正する法律が施行され、公の施設の管理運営について、指定管理者制度が創設された。

ぎふワールド・ローズガーデンについても、民間の経営ノウハウの活用による利用者サービスの向上と経費の節減を図るため、平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

指定管理者：ぎふWRGマネジメントグループ

第1期 平成18年4月1日～平成21年3月31日 (3年間)

(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター

第2期 平成21年4月1日～平成23年3月31日 (2年間)

(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター

第3期 平成23年4月1日～平成28年3月31日 (5年間)

ぎふWRGマネジメントグループ

第4期 平成28年4月1日～令和5年3月31日 (7年間)

第5期 令和5年4月1日～令和12年3月31日 (7年間)

<指定期間を7年とした理由>

指定期間の延長により、指定管理者の公園への投資を促し、さらなる公園の活性化を図るため。

(2) 事業内容

- ・指定管理者制度の導入により、最小のコストで最大のサービスが提供できるよう経費節減を図り、適切な県営公園の管理運営を行う。

・指定管理料

228,043千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県 (227,511千円) 管理及び設置許可等収入 (532千円)

(4) 類似事業の有無

有

【類似事業】

- ・養老公園維持管理費（指定管理者分）
- ・百年公園維持管理費（指定管理者分）
- ・各務原公園維持管理費（指定管理者分）
- ・世界淡水魚園維持管理費（指定管理者分）
- ・ぎふ清流里山公園維持管理費（指定管理者分）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	228,043	公園の管理運営業務にかかる指定管理料の支払い
合計	228,043	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
都市公園の適正な管理運営を行う。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	達成率
入園者数 6公園全体	774万人	699万人	734万人	1,000万人	1,000万人	73.4%
ローズガーデン	43万人	39万人	38万人			

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	(1) エディブルローズ育成 園内で食用バラの栽培と、それを使用した商品開発を行うプロジェクトを立ち上げ、試作品を製作し、販売に向けた準備をすすめた。 (2) 早期特別開園イベントの実施 春バラ最盛期の週末に特別開園イベントを実施し、約3,600の方に参加いただいた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
	(1) エディブルローズ育成・商品化 園内で食用バラを栽培し、それを使用した商品や飲食メニューを園内で販売し人気を集めた。 (2) 新規イベントの実施 秋バラ後の閑散期において新規大型イベントを開催し、約16,600の方に参加いただいた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	(1) エディブルローズ育成・商品化 「ぎふ国際ローズコンテスト」で入賞したバラを使用したスイーツやジャムの開発を行い、ギフト商品や飲食メニューを園内で販売した。 (2) 新規イベントの実施 秋バラ後の閑散期に、新規の夜イベントを開催し、約3,000の方に参加いただいた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	都市公園を管理運営することについては、県民のレクリエーションの空間となるほか、都市景観の形成、都市環境の改善、豊かな地域づくりに資する交流の空間など多様な機能を提供するため、事業の必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 2
都市公園の適正な管理を概ね期待どおり実施している。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 1
民間のノウハウを活用し、経費の節減を図りつつ、利用者サービスの向上に努めている。	

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
公園施設の老朽化に伴う維持管理費の増加

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

県民、運営協働会議、県営公園指定管理者評価員会議等の意見を公園の管理運営に反映させ、指定管理者とともに、利用しやすく、サービスが充実した都市公園となるよう引き続き取り組んでいく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	